

令和6年度ウチナージュニアスタディー事業 県内参加者募集要項

1 事業目的

世界の沖縄県系人子弟と沖縄県内の同世代の学生が生活を共にしながら沖縄の歴史や文化、自然等を学ぶことで、強い絆を構築するとともに、県系人子弟についてはルーツである沖縄への理解を深め、県内学生については国際的な視野を広げることで「ウチナーネットワーク」※を担う次世代を育成する。

県内参加者及び県内青年リーダーは沖縄本島で実施予定の全3回の学習プログラムに参加する。ただし、感染症拡大や、沖縄本島への台風接近にともなう悪天候の場合は、オンラインでの参加となる可能性がある。

※ウチナーネットワークとは・・・

海外及び県外に移住した沖縄県出身者やその子弟のウチナーンチュ（沖縄県系人）と沖縄県民及び沖縄と縁のある人々との多面的なつながりのこと。文化・経済など多分野における交流を通じてネットワークが形成されている。

2 実施内容

(1) 実施期間

県内参加者は、2023年6月から8月にかけて実施される全3回の学習プログラムに参加する。海外参加者は第3回学習プログラムのみ沖縄本島に来てプログラムに参加し、その他のプログラムはオンラインで参加する。

プログラムの日程（予定）：

第1回 2024年6月30日（日）9:00～11:00

第2回 2024年7月7日（日）9:00～11:00

第3回 2024年7月28日（日）～8月3日（土）までの7日間

※1 第3回は海外参加者及び県外参加者を含めた全ての参加者が沖縄本島で合宿を行う。日程は6泊7日の予定である。

ただし、感染症拡大など社会状況によっては、合宿ではなく日帰りやオンラインでプログラムを実施する可能性がある。

※2 第1回、第2回は県外参加者及び県内離島からの参加者はオンライン参加とする。

※3 上記の日程とは別に、ウチナーネットワークの継承・発展に関するイベント及び国際交流に関するイベントに参加することがある。日時や参加形態等の詳細は決まり次第参加者に周知する。

(2) 学習プログラム

①自然学習

沖縄の自然や動植物等に触れるアクティビティーを体験し、その大切さを学ぶ。

②歴史学習

琉球の歴史や本土復帰など沖縄の今日までの歩みについて学ぶ。

③文化学習（伝統工芸・芸能体験）

沖縄の歴史から生まれた工芸・芸能等の文化を知り、体験する。

④平和学習

沖縄の戦跡等を巡り、戦争の歴史を学ぶとともに、平和について考える。

⑤社会学習

沖縄での生活を経験し、沖縄の現状を知る。海外参加者へ沖縄の現状を伝える。

⑥移民・移住学習

沖縄県の移民・移住の歴史やウチナーンチュ大会、世界のウチナーンチュの日について学び、ウチナーンチュのアイデンティティーを再認識する。

(3) その他

①LINE等のソーシャルネットワークサービス(SNS)へ参加し、参加者と交流する。

②プログラム終了後には感想文及びアンケートを提出する。

③県外参加者及び海外参加者・海外青年リーダーも含めた他の参加者とチームを結成し、学習プログラム第3回の8月3日(土)に、学習成果をチームで発表する。

3 募集人数

海外参加者 10名

海外青年リーダー 1名

沖縄県内参加者 15名

沖縄県外参加者 2名

県内青年リーダー 1名

計 29名 予定

4 募集要件

(1) 対象

①県内在住の中学・高校生。

②これまでに沖縄県が実施した以下の事業に参加していないこと。

・ウチナージュニアスタディー（平成24年度～令和元年度、令和5年度）

※平成24年度～令和元年度、令和5年度：対面実施の年度

(2) 資格

①健康で、集団生活が可能であること。

②ウチナーネットワークを担う人材として自覚する者。

③プログラムの全日程に参加できる者。

④国際交流に興味があり、学習プログラムを通じて海外参加者、県外参加者及び県内参加者と積極的交流できると見込める者。

⑤他の参加者とチームを結成するため、LINE等のSNSを利用してチーム内でコミュニケーションを取ることができる者。アプリケーションのインストールやアカウント作成などの準備は、事業への参加が決定した後でもよい。

(3) 言語能力

プログラムは全て日本語で実施するため、日本語以外の言語能力は問わない。

(4) 応募者又は参加者の経費負担

応募から決定までに係る経費（貼付用写真代、面接時の交通費など）、事前学習及びプログラム参加時の往復交通費は応募者又は参加者の負担とする。離島参加者については、那覇空港等から会場までの交通費は参加者負担とする。

(5) 沖縄県が負担する経費

沖縄県が負担する経費は以下のとおり。

①離島参加者については、全3回のプログラム参加時の最寄空港等から沖縄那覇空港等までの往復航空賃又は船賃。また、プログラム開始前日、終了日当日の宿泊代（本島内親戚宅へのホームステイを認める。その場合、前後泊の宿泊代について県は負担しない）。

②第3回プログラム期間中（7月28日（日）～8月3日（土））の宿泊代、食事代、各施設入場料、旅行保険等。

5 応募に必要な書類・留意事項

(1) 必要書類

①県内参加者申込書（様式1）

②作文（A4用紙で800字程度、A4原稿用紙可）

課題「世界のウチナーンチュに伝えたい沖縄」

作文にも氏名を記入すること

※参加候補者1名につき各様式1部を作成すること

(2) 提出期限

令和6年5月23日（木）必着（郵送または持参）

(3) 提出先

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2（5階）

沖縄県 文化観光スポーツ部 交流推進課 知念 菜々子

TEL：098-866-2479 FAX：098-866-2960

Email：chinenn@pref.okinawa.lg.jp

6 選考方法・スケジュール

(1) 選考方法

一次審査として上記応募書類に基づき書類審査を行い、書類審査合格者を対象に沖縄県庁（那覇市）またはオンラインにて二次審査（面接）を行う。ただし、応募

者数によっては、二次審査を省くことがある。なお、二次審査の日程及び最終結果の通知については、応募者あてにメール及び電話で行うこととする。

(2) スケジュール（各日程は現時点での予定のため、変更となる可能性あり）

①一次審査結果通知

令和6年5月30日頃を予定

②二次審査（面接）

令和6年6月 第1週～第2週を予定

③最終結果通知

令和6年6月10日頃を予定

(3) その他

離島地域など遠隔地からの応募者については、オンラインによる二次審査（面接）を行う予定である。応募者数によっては、二次審査を省くことがある。

① 二次審査（面接）

令和6年6月 第1週～第2週を予定

7 その他留意事項

(1) 参加決定後に、参加者が辞退を申し出た場合には、当該参加者の参加決定を取り消し、次点の応募者を繰り上げる。

(2) 本募集により収集した個人情報は、ウチナージュニアスタディー事業に関する連絡、案内及び選考のほか、本事業の実施のために使用する。また、これらの情報は、本事業の円滑な実施のために委託業者及び他の参加者等の事業関係者に提供する。ウチナージュニアスタディー事業に参加した後、事業に対する調査（アンケート）や沖縄県が主催する国際・国内交流事業に関連した交流会・イベントの案内を参加者または保護者のメールに送ることがある。なお、その場合においても、収集した情報は、使用目的の範囲内で適切に取り扱う。

(3) 沖縄県では、ウェブサイトやSNS、パンフレット等の広報媒体において事業に関する広報活動を行っており、事業内容を県民や関係機関にできるだけ具体的にわかりやすく伝えるため、参加者の写真や動画などを広報媒体に掲載することがある。

以上